

# 夜空を彩る約3,500発の花火 2026にかほの花火

8月22日、象潟海水浴場にて2026にかほの花火が開催されました。夏の風物詩である「にかほの花火」は象潟町時代の花火大会から数えて76回目を迎え、会場には通路まで人でにぎわうほど沢山の人が来場しました。音楽に合わせて打ちあがる、色とりどりの美しく迫力のある花火が会場を魅了しました。また、多くのキッチンカーや露店も出店し、観客達は花火を見ながらおいしい食事を楽しんでいました。



▲象潟海水浴場の夜空一面を花火が埋めつくしました。

## 語り継ぐ、戦争の歴史

### 令和8年度 にかほ市平和祈念戦没者追悼式

8月26日、仁賀保勤労青少年ホームで令和8年度にかほ市平和祈念戦没者追悼式が挙行されました。式では、戦没者遺族が参列し黙とうや献花が行われ、象潟中学校の伊東千博さんが平和への誓いを述べました。昭和20年の終戦から81年が経過し、年々戦没者遺族が減少していくなかでも、恒久平和と戦争の歴史を語り継ぐ決意が述べられました。



▲平和への誓いを述べる伊東さん

## 競技の中で自然の循環について考える

### 鳥海山SEA TO SUMMIT 2026

8月23日、山形県の西浜海岸から鳥海山大物忌神社を舞台に、鳥海山SEA TO SUMMIT2026が開催されました。本イベントは、人力のみで海（カヤック）から里（自転車）そして山頂（登山）へと進む中で、自然の循環について身をもって体験し、かけがえのない自然について考える環境イベント。参加者は大自然を満喫しながら汗を流していました。



▲鳥海山の山頂を目指し登山を楽しむ参加者

# ご存知ですか？ 産後ケア事業

～10月からスマイル内で直営デイサービス型産後ケアがスタート！～

赤ちゃんとの  
生活のスタートを  
安心サポート!!

「産後の体調がよくない」「授乳がうまくいかない」「お世話の仕方に不安がある」「出産・育児でからだも気持ちも疲れてきた」など不安や困っていることはありませんか？  
産後ケア事業では、出産後のママや赤ちゃんが安心して過ごせるように助産師等がサポートします。

## ■利用できる方

にかほ市在住で1歳未満のお子さんとママ  
(事業によって利用できる月齢が変わる場合があります。)

## ■ケアの内容

- ①からだのサポート: ママの産後の体調の相談
- ②こころのサポート: 育児相談・発達相談・こころの休養
- ③育児のサポート: 赤ちゃんの沐浴、授乳方法についての相談



## ■実施方法

(1)【デイサービス型】産後ケアセンターなどの通所施設にてケアを実施

①【直営型】にかほ市こども家庭センター(スマイル内)にてケアを提供

直営型こども家庭センターの産後ケアではこんなことをしています



ママの体のケアのご相談



こころとからだの休養



沐浴施設も完備!

スマイル内キッチンひまわりでランチ(自費)もOK!

②【委託型】市が委託する産後ケア実施施設にてケアを提供

- ・子ども子育て応援ハウスGrowing up(秋田市)
- ・産前産後ケアハウスDear Diary(酒田市)
- ・NPO法人ここはぐ(秋田市)
- ・いちごレディースクリニック(酒田市)
- ・ふじ産婦人科・内科(秋田市)
- など

(2)【訪問型】市が委託している助産師が自宅に訪問しケアを実施

(3)【宿泊型】市が委託している病院などの宿泊可能な施設にてケアを実施

- ・由利組合総合病院(由利本荘市)
- ・日本海総合病院(酒田市)
- ・いちごレディースクリニック(酒田市)
- など

## ■実施までの流れ

まずは **こども家庭センター(☎32-3036)** までご連絡下さい。

基本的に **ご相談 → ご利用日の調整 → 申込み手続き → ご利用** の流れになります。

ご利用の際は自己負担が生じる場合がありますので、ご了承下さい。

(直営デイサービス型:0円、委託デイサービス型:1,500~2,000円前後、訪問型:0円、宿泊型:6,000円前後)